

計画名：安全・安心な生活環境の整備を図る
下水道事業の推進（防災・安全）（重点計画）

都市整備課

社会資本総合整備計画 事後評価書（中間評価書）

令和 7年 6月 13 日

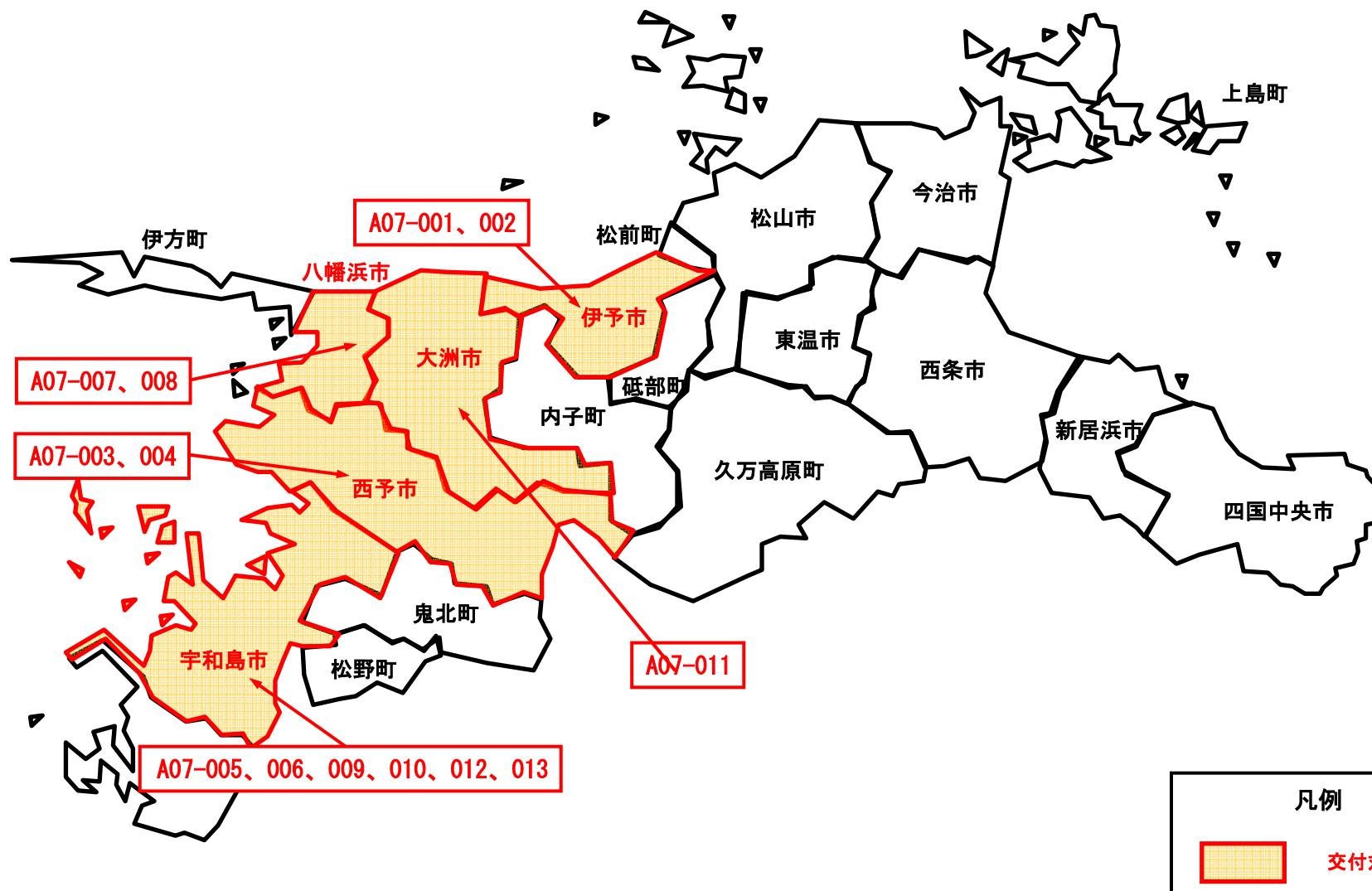
計画の名称	1 安全・安心な生活環境の整備を図る下水道事業の推進（防災・安全）（重点計画）																		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）					交付対象 伊予市、西予市、宇和島市、八幡浜市、大洲市（計5市）													
計画の目標																			
本県においては、下水道施設の老朽化対策や大規模地震への地震対策に加えて近年のゲリラ豪雨を踏まえた浸水対策も必要性が高まっている。このような中で、適切に雨水を排除し、県民の人命、財産を守るため、重点計画として雨水管渠やポンプ場の整備、既存施設の長寿命化を行い、安全・安心な生活環境の整備を実現する。																			
計画の成果目標（定量的指標）																			
・新たに雨水整備が必要な排水区の整備率を56%から63%に向上（西予市、宇和島市、八幡浜市） ・老朽化対策が必要な雨水ポンプ場の実施率を79%から100%に向上（伊予市）																			
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			達成率	備考						
① 西予市（安土及び日吉崎排水区）、宇和島市（城南排水区）及び八幡浜市（喜木川第2排水区）の整備率（4排水区の雨水対策事業実施面積/4排水区の全体計画面積） 目標値：56.0% 実績値：57.0%									当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)								
									② 伊予市の雨水ポンプ場の老朽化対策実施率（伊予市の雨水ポンプ場での実施済み老朽化対策事業費/伊予市の雨水ポンプ場で必要な老朽化対策総事業費） 目標値：79.0% 実績値：100.0%										
全体事業費（計画）		合計 (A+B+C)	1693百万円	A	1693百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		0.0%	進捗率 (実施事業費/全体事業費)	83.3%					
実施事業費（最終）		合計 (A+B+C)	1410百万円	A	1410百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		0.0%							
1. 交付対象事業																			
A1 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率 (%)	備考
											H30	H31	R2	R3	R4				
A07-001	下水道	一般	伊予市	直接	伊予市	ポンプ場	改築	大谷雨水ポンプ場（長寿命化）	ポンプ設備等	伊予市						15	15	100.0	
A07-002	下水道	一般	伊予市	直接	伊予市	ポンプ場	改築	安広雨水ポンプ場（長寿命化）	ポンプ設備等	伊予市						124	124	100.0	
A07-003	下水道	一般	西予市	直接	西予市	管渠(雨水)	新設	雨水渠（日吉崎排水区、安土排水区）	雨水渠整備、調査設計等	西予市						732	731	99.9	
A07-004	下水道	一般	西予市	直接	西予市	ポンプ場	新設	日吉崎雨水ポンプ場（浸水対策）	日吉崎雨水ポンプ場整備、調査設計等	西予市						60	60	100.0	
A07-005	下水道	一般	宇和島市	直接	宇和島市	管渠(雨水)	改築	雨水渠（城南排水区）	雨水渠整備、調査設計等	宇和島市						28	12	42.9	関係機関との調整による進捗遅れ
A07-006	下水道	一般	宇和島市	直接	宇和島市	ポンプ場	新設	城南雨水排水ポンプ場（浸水対策）	雨水ポンプ場整備、調査設計等	宇和島市						270	119	44.1	関係機関との調整による進捗遅れ
A07-007	下水道	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	管渠(雨水)	新設	雨水渠（喜木川第2排水区）	雨水渠整備、調査設計等	八幡浜市						14	14	100.0	
A07-008	下水道	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	ポンプ場	新設	神越ポンプ場（浸水対策）	神越ポンプ場整備、調査設計、用地等	八幡浜市						136	135	99.3	
A07-009	下水道	一般	宇和島市	直接	宇和島市	ポンプ場	新設	大浦雨水排水ポンプ場（浸水対策）	雨水ポンプ場整備、調査設計等	宇和島市						186	86	46.2	地元調整による進捗遅れ
A07-010	下水道	一般	宇和島市	直接	宇和島市	管渠(雨水)	新設	雨水渠（新田排水区）	雨水渠整備、調査設計等	宇和島市						27	21	79.2	現地精査により事業費減
A07-011	下水道	一般	大洲市	直接	大洲市	管渠(雨水)	改築	肱川第3排水区（浸水対策）	雨水管渠整備基本設計、雨水出水浸水想定区域図作成	大洲市						21	21	100.0	
A07-012	下水道	一般	宇和島市	直接	宇和島市	管渠(雨水)	新設	雨水渠（大浦排水区）	雨水渠整備、調査設計等	宇和島市						20	9	45.0	地元調整による進捗遅れ
A07-013	下水道	一般	宇和島市	直接	宇和島市	—	—	雨水管理総合計画	調査設計等	宇和島市						60	63	105.0	
合計																1,693	1,410		

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	実施事業費 （百万円）	進捗率 （%）	備考
										H30	H31	R2	R3	R4				
合計														0	0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
C 効果促進事業（該当なし）																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	全体事業費 （百万円）	進捗率 （%）	備考
										H30	H31	R2	R3	R4				
合計														0	0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況	
I 定量的指標に関連する 交付対象事業（各要素事業）の 効果の発現状況	・下水道整備を推進したことにより、雨水対策事業実施面積が12ha増加し、県内の雨水対策の推進に寄与した。 ・老朽化した雨水ポンプ場の整備を推進したことにより、既存施設の長寿命化の推進に寄与した。
II 定量的指標以外の交付対象事業の効果の 発現状況 （必要に応じて記述）	・今回の整備計画において、5市が雨水管渠やポンプ場の整備を実施することで、計画的な雨水対策の推進に寄与した。
3. 特記事項（今後の方針等）	
・近年のゲリラ豪雨を踏まえた浸水対策の必要性が高まっており、適切に雨水を排除し、県民の人命、財産を守るため、引き続き雨水管渠やポンプ場の整備に取り組んでいく。	

社会資本総合整備計画位置図 (防災・安全交付金)



事業概要

本事業は、下水道事業を実施している5市において、下水道施設の老朽化対策や大規模地震への地震対策に加えて近年のゲリラ豪雨を踏まえた浸水対策も必要性が高まっている中で、適切に雨水を排除し、県民の人命、財産を守るため、重点計画として雨水管渠やポンプ場、既存施設の長寿命化に係る整備及び整備に必要な調査設計を行うものである。（※該当市町：伊予市、西予市、宇和島市、八幡浜市、大洲市）

（概要説明）

伊予市大谷雨水ポンプ場は昭和58年に供用開始し、これまで適正な維持管理や必要な修繕を行ってきたが、機械・電気設備の老朽化に伴い機能低下や安全性の確保が困難になってきたため、更新を実施したものである。

（概要説明）

西予市三瓶町安土排水区は、低地のため雨水流出が集中しやすく、大雨や台風時に満潮や高潮が重なった際には、既設水路の流下能力不足が原因で浸水被害を受けてきたことから、豪雨時の雨水排水処理をスムーズに行い浸水被害を解消、軽減するため、整備を実施したものである。

A07-001 大谷雨水ポンプ場（浸水対策）

整備前



整備後

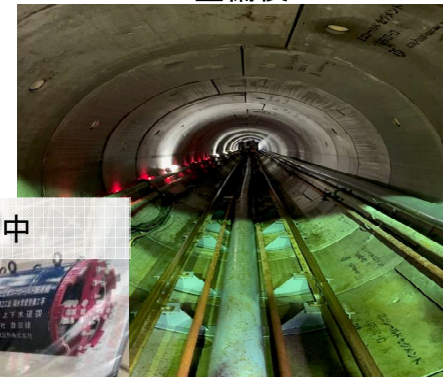


A07-003 安土排水区雨水渠（浸水対策）

整備前



整備後



施工中

